

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公開番号】特開2018-184599(P2018-184599A)

【公開日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-045

【出願番号】特願2018-100530(P2018-100530)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/20 (2006.01)

C 0 8 F 238/00 (2006.01)

C 0 8 F 222/40 (2006.01)

C 0 8 F 216/12 (2006.01)

C 0 9 K 19/38 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 220/20

C 0 8 F 238/00

C 0 8 F 222/40

C 0 8 F 216/12

C 0 9 K 19/38

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月8日(2019.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

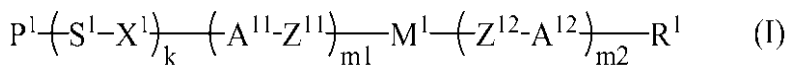
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

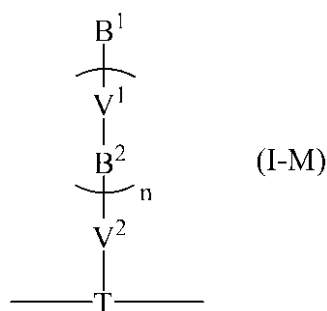
一般式 ( I )

【化 1】



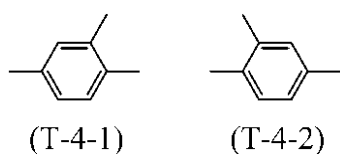
(式中、 $P^1$  は重合性基を表し、 $S^1$  はスペーサー基又は単結合を表し、 $X^1$  は - O - 又は単結合を表し(ただし、 $P^1 - (S^1 - X^1)_k$  - には - O - O - 結合を含まない。)、 $A^{11}$  及び  $A^{12}$  は各々独立して 1, 4 - フェニレン基、1, 4 - シクロヘキシレン基又はナフタレン - 2, 6 - ジイル基を表すが、これらの基は無置換であるか又は 1 つ以上の L によって置換されても良く、 $A^{11}$  及び / 又は  $A^{12}$  が複数現れる場合は各々同一であっても異なっても良く、 $Z^{11}$  及び  $Z^{12}$  は各々独立して - CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub> - 、 - COO - 、 - OCO - 、 - COO - CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub> - 、 - OCO - CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub> - 又は単結合を表すが、 $Z^{11}$  及び / 又は  $Z^{12}$  が複数現れる場合は各々同一であっても異なっても良く、 $R^1$  は炭素原子数 1 から 12 の直鎖状又は分岐状アルキル基、若しくは  $R^1$  は - (X<sup>R</sup> - S<sup>R</sup>)<sub>k<sub>R</sub></sub> - P<sup>R</sup> で表される基(式中、 $P^R$  は重合性基を表し、 $S^R$  はスペーサー基又は単結合を表し、 $X^R$  は - O - 又は単結合を表し(ただし、- (X<sup>R</sup> - S<sup>R</sup>)<sub>k<sub>R</sub></sub> - P<sup>R</sup> には - O - O - 結合を含まない。)、 $k_R$  は 0 又は 1 を表す。))を表しても良く、 $M^1$  は式 ( I - M )

## 【化 2】

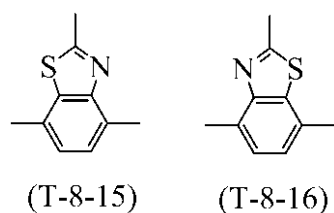


(式中、Tは式(T-4-1)、式(T-4-2)、式(T-8-15)及び式(T-8-16)

## 【化 3】

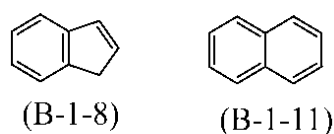


## 【化 4】



で表される三価の基を表し、これらの基は無置換又は1つ以上の $L^T$ によって置換されても良く、 $L^T$ はフッ素原子、又は、1個の $-CH_2-$ 又は隣接していない2個以上の $-CH_2-$ が各々独立して $-O-$ によって置換されても良い炭素原子数1から10の直鎖状アルキル基を表すが、 $L^T$ が複数存在する場合それらは同一であっても異なっても良く、 $B^1$ は式(B-1-8)及び式(B-1-11)

## 【化 5】



(式中、環構造には、任意の位置に結合手を有して良く、任意の $-CH=$ は各々独立して $-N=$ に置き換えられても良く、 $-CH_2-$ は各々独立して $-O-$ 又は $-S-$ に置き換えられている。)で表される基を表すが、これらの基は無置換であるか又は1つ以上の $L^B$ によって置換されても良く、 $B^2$ は単結合又は式(B-2-3)

## 【化 8】



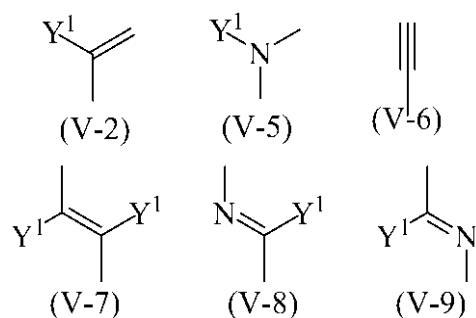
(B-2-3)

(式中、環構造には、任意の位置に結合手を有して良く、任意の $-CH=$ は各々独立して $-N=$ に置き換えられても良く、 $-CH_2-$ は各々独立して $-O-$ 又は $-S-$ に置き換えられている。)

で表される二価の基を表すが、これらの基は無置換であるか又は1つ以上の $L^B$ によって置換されても良く、 $L^B$ はフッ素原子、塩素原子、ニトロ基、シアノ基、メチルアミノ基、ジメチルアミノ基、又は、基中の任意の水素原子がフッ素原子に置換されていても良く、1個の $-CH_2-$ 又は隣接していない2個以上の $-CH_2-$ が各々独立して $-O-$ 、 $-$

S - 又は - CO - によって置換されても良い炭素原子数 1 から 20 の直鎖状又は分岐状アルキル基を表し、L<sup>B</sup> が複数存在する場合それらは同一であっても異なっても良く、V<sup>1</sup> 及び V<sup>2</sup> は単結合、- S -、- CS - NH -、- NH - CS -、式 (V - 2)、式 (V - 5)、式 (V - 6)、式 (V - 7)、式 (V - 8)、式 (V - 9)

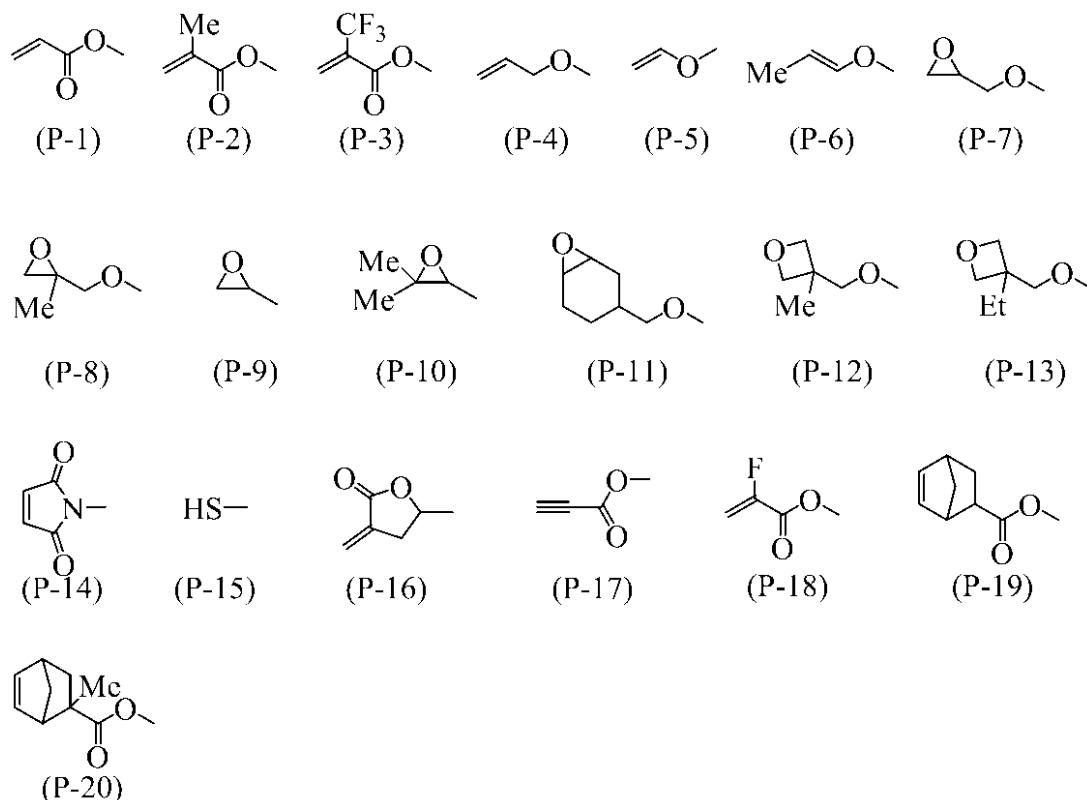
【化 10】



(式中、Y<sup>1</sup> は水素原子、若しくは 1 個の - CH<sub>2</sub> - 又は隣接していない 2 個以上の - CH<sub>2</sub> - が各々独立して - O - によって置換されても良い炭素原子数 1 から 20 の直鎖状又は分岐状アルキル基を表し、Y<sup>1</sup> が複数存在する場合それらは同一であっても異なっても良い。) から選ばれる二価の結合基を表し、n は 1 から 3 の整数を表す。) で表される基を表し、M<sup>1</sup> に含まれる 電子の総数が 6 から 50 であり、L はフッ素原子、塩素原子、1 個の - CH<sub>2</sub> - 又は隣接していない 2 個以上の - CH<sub>2</sub> - が各々独立して - O - によって置換されても良い炭素原子数 1 から 12 の直鎖状又は分岐状アルキル基を表すが、L が複数存在する場合それらは同一であっても異なっても良く、k は 0 又は 1 を表し、m<sub>1</sub> 及び m<sub>2</sub> は各々独立して 0 から 4 の整数を表すが、m<sub>1</sub> + m<sub>2</sub> は 2 から 4 の整数を表し、

一般式 (I) 中に存在する重合性基は各々独立して式 (P - 1) から式 (P - 20)

【化 11】



から選ばれる基を表し、また、一般式 (I) 中に存在するスペーサー基は各々独立して 1 個の - CH<sub>2</sub> - 又は隣接していない 2 個以上の - CH<sub>2</sub> - が各々独立して - O - 、 - COO - 又は - OCO - に置き換えられても良い炭素原子数 1 から 8 のアルキレン基を表す。

【化 1 2】


$$A_o / A_e > 1 \quad (\text{式 I})$$

**【請求項 2】**

【請求項3】

【請求項4】

【請求項 5】

【請求項 6】

【請求項 7】

請求項 1 又は請求項 2 のいずれか一項に記載の化合物を用いた樹脂、樹脂添加剤、オイル、フィルター、接着剤、粘着剤、油脂、インキ、医薬品、化粧品、洗剤、建築材料、包装材料、液晶材料、有機 E L 材料、有機半導体材料、電子材料、表示素子、電子デバイス、通信機器、自動車部品、航空機部品、機械部品、農薬及び食品並びにそれらを使用した製品。